

令和7年度 林業普及週間現地情報 (4/29～5/2)

森林管理課

森林資源量調査検討会の実施について

4月30日(火)

宮古島市の森林率は16%と県全体の47%を大きく下回っているが、市有林での造林事業により森林資源が充実しつつある。しかし、伐期に達しつつある造林地において、正確な場所や資源量が把握できていない状況にあり、島産材の利用拡大や安定供給に支障となっている。

そこで、宮古島市の森林環境譲与税を活用した森林資源量調査を実施するために、宮古島市みどり推進課、宮古森林組合、宮古農林水産振興センター農林水産整備課の関係者で検討会を実施した。

森林資源調査では、造林履歴をGIS（地理情報システム）に結びつける作業や資源量の把握のために現地調査を実施する予定であり、今回の検討会では、現状の造林事業における課題や調査を進めていくうえで課題となる事項、調査内容について調整した。また、県の職員によってGISでの作業内容を説明し、造林履歴をGISで管理するために必要な情報の説明も実施した。

古い造林履歴の把握や造林地の座標値をつけた管理など難しい課題はあるが、参加者は、前向きな検討をしており、今後も関係者と調整を続けて、森林資源調査を実施し、宮古島市有林の適切な管理および島産材の利用拡大に繋がるよう取り組んでいきたい。

